

環境研究総合推進費 令和7年度中間評価個票

研究課題番号	1-2406
研究課題名	生物多様性と子どもの健康の関連解析と健康に直結する自然再興指標の提案
研究実施期間	2024（令和6）年度～2026（令和8）年度
研究代表機関名	国立環境研究所
研究代表者名	中山祥嗣

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

世界的にもユニークな生物多様性が人健康に及ぼす影響に関する疫学研究である。自然共生サイトの長期キャンプが腸内細菌叢に与える影響を示すなど一定の結果が得られていることから、当初の研究計画に基づいて概ね順調に研究が進展しているものと考えられる。しかし、現時点ではサンプルサイズは小さく、対照を欠く箇所もあるのでデータの信頼性を高める必要がある。また、本研究においては細菌相と植生が主たる分析対象とされているが、昆虫など動物に関する考察や生物多様性の文化的なサービスもについても考慮すべきではないかと思われる。さらに、腸内細菌叢の変化に及ぼす様々な要因や健康影響を及ぼすであろう細菌叢の解像度についての検討、調査前後の食事の影響に関する考察なども必要と考えられる。環境行政への貢献について再整理するとともに、DNAデータの登録や公開、成果の論文を介した情報発信にも努めてほしい。